

インドネシア人介護福祉士候補者の 受け入れについて

天神会での取り組み

平成27年4月20日発表

社会福祉法人 天神会
高田 美洋

次 第

- 法人の概要
- 受入施設の概要
- 候補者受入の状況
- 宗教について
- 受入にあたっての留意点
- 候補者と日本人との違い
- インドネシア人の良い点、留意点
- 日頃の様子など

法人の概要

- 法人名 : 社会福祉法人 天神会
- 所在地 : 岡山県笠岡市神島3626番地7
- 設立 : 1980年10月
- 理事長 : 岡崎 利治
- 運営施設 : 全15施設
- 利用者数(定員): 入所 498名
: 通所 165名
- 従業員数 : 352名 (2015年4月1日現在)
- 総敷地面積 : 43,101 m²

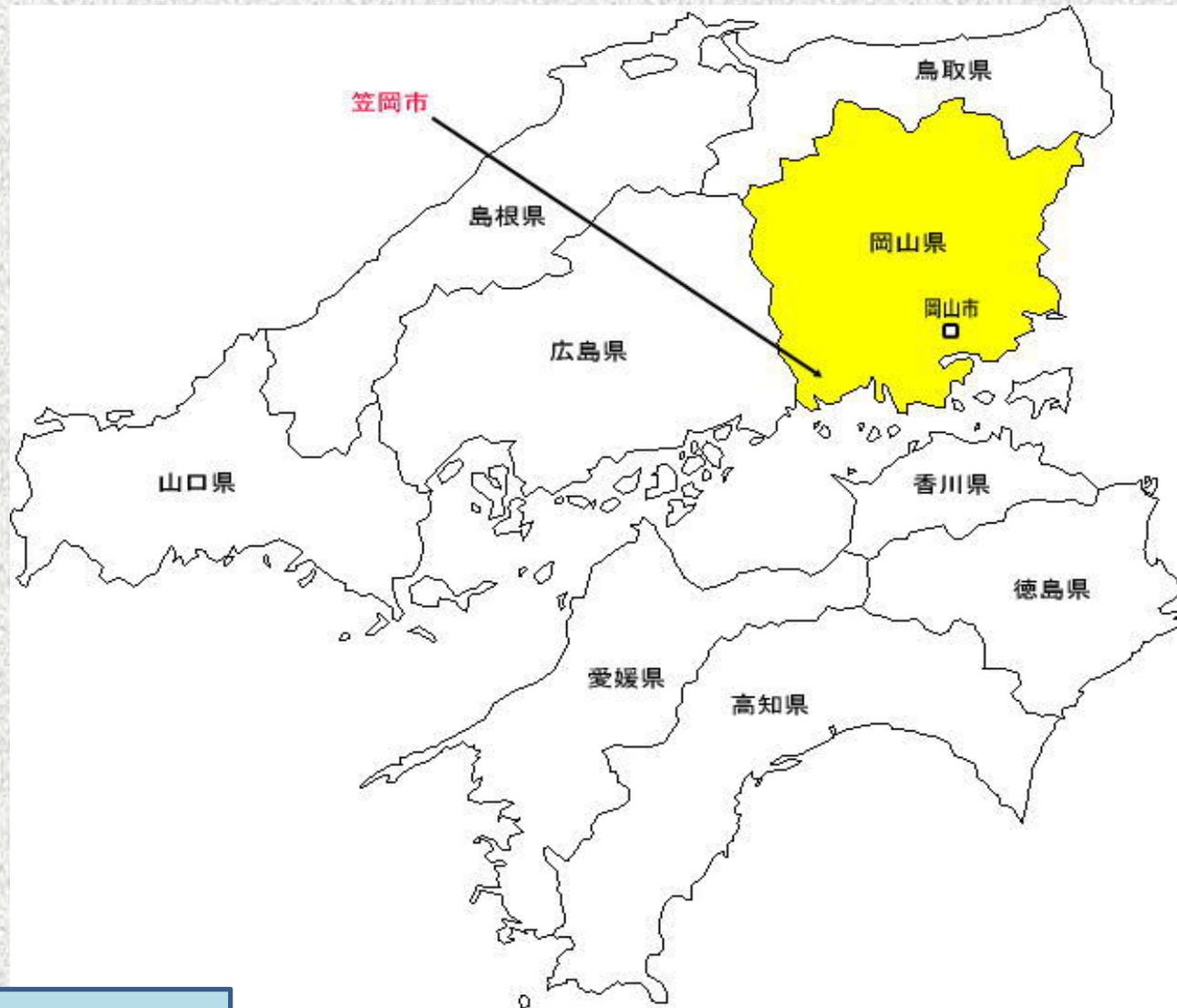


天神荘・こうのしま荘



天神介護老人保健施設

法人概要



受入施設の概要

施設名	特別養護老人ホーム天神荘
開設	1981年6月
施設長	高田 美洋
施設内容	特別養護老人ホーム（定員：110名, ショートステイ10名） デイサービスセンター（定員：25名） ホームヘルプサービス 居宅介護支援事業所
従業員数	113名(2015年4月1日現在) 看護師 9名 介護員75名



受入施設の概要

施設名	天神介護老人保健施設
開設	1990年4月
施設長	林 天明
施設長代理	渡邊 宏
施設内容	介護老人保健施設（定員：100名） デイケアセンター（定員：20名）
従業員数	70名(2015年4月1日現在) 看護師11名 介護員41名



受入施設の概要

施設名	こうのしま介護老人保健施設
開設	1992年4月
施設長	中西 紀男
施設内容	介護老人保健施設（定員：100名） デイケアセンター（定員：80名）
従業員数	81名(2015年4月1日現在) 看護師16名 介護員43名



受入施設の概要

施設名	障害者支援施設こうのしま荘
開設	1992年4月
施設長	坂本 裕幸
施設内容	障害者支援施設（定員：80名、短期入所8名） 短期入所事業（空床利用） 地域活動支援センター 井笠圏域障害者相談支援センター 日中一時支援事業 障害者相談支援センター
従業員数	79名(2015年4月1日現在) 看護師10名 介護員55名



候補者受入の状況について

候補者の受入状況

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 入国予定	計
特別養護老人ホーム天神荘	4	5	2	4	15
天神介護老人保健施設	0	5	1	2	8
こうのしま介護老人保健施設	0	5	1	2	8
障害者支援施設こうのしま荘	0	5	1	2	8
計	4	20	5	10	39

候補者受入の状況について

平成 24・25(2012・2013) 5人来日



平成25(2013) 19人来日



平成26(2014) 5人来日



宗 教 に つ い て

(平成27年度入国予定を含む)

	イスラム教	ヒンドゥー教	キリスト教 (アドベント)	キリスト教 (カトリック)	計
特別養護老人ホーム天神荘	13	1	0	1	15
天神介護老人保健施設	7	0	1	0	8
こうのしま介護老人保健施設	6	0	2	0	8
障害者支援施設こうのしま荘	7	0	1	0	8
計	33	1	4	1	39

受入にあたっての留意点

暮らしについて

- 職員寮を用意し、ひととおりの生活用品を準備した。
- 買い物は、自転車で生活圏内を案内し、時には車で一緒に出かけることもした。
- 宗教について理解しておく（お祈り・ラマダンなど）
- 生活習慣や食べ物や禁忌行為も理解しておく。
- 同僚間でお金の貸し借りはしないことを指導した。
- 緊急連絡カードを作成し、外出時は携行させた。
- 日本は、2度お礼を言う習慣があることを教えた。
- 日本の国内法を遵守するよう指導した。
- 日本人の採暖の取り方を実地で教える。 等々

受入にあたっての留意点

就労について

- 6カ月間、職場になじむまでマンツーマンでの教育を実施した。
- 最初は利用者に日本語が通じず拒否される事があった。
- 職場内は日本語のみ使用する。
- 出勤は、時間にゆとりを持って行うよう指導した。
- お辞儀の3種類を教えた。
- 報連相の大切さを指導した。
- 人の前で叱責されることを嫌うので日本人側が理解する必要がある。
- 日本では、返事は一回を教えた。

受入にあたっての留意点

健康面について

- 体調について要観察が必要
遠慮からか本人から不調の訴えがない故、悪化して気付くことがあった。

学習支援について

- 国際厚生事業団の学習プログラムに従い学習を進める。
 - 就労時間中に外部講師による日本語学習の時間を設けている。
- 国家試験対策は、外部講師と施設スタッフで行っている。

候補者と日本人の違い

- ① 日本人以上に目的意識が高く向上心がある。また、競争心も強くお互い切磋琢磨している。
- ② とても勉強熱心で業務外の時間を有効利用している。
- ③ 利用者、職員にいつも笑顔で対応している。
- ④ あまり感情的になることはなく、注意されても顔に出さず謙虚である。

などなど日本人の方が学ぶべき点や考えさせられる事も多かった。

インドネシア人の良い点

- ① とにかく明るく、やさしい。
- ② 素直で謙虚である。
- ③ 休まず出勤する。
- ④ わからないことは質問する。
- ⑤ まじめで丁寧な対応をする。
- ⑥ 利用者、職員と積極的にコミュニケーションをとっている。

インドネシア人の留意点

- ① 理解できなくても「はい」とわかった返事をする。
(説明してくれた人に失礼だと思うらしい。)
- ② 悩みなどあってもあまり相談する事がない。
(我慢してしまふところがある。)
- ③ 交通ルールの感覚が日本とは違うので、事故にあふことの無いよう交通指導が必要。

日頃の様子



日本語教室



救命救急講習会



日頃の様子



日頃の様子



レクリエーション



敬老会



防災訓練

日頃の様子



チョコレートタワー

障害者支援施設 こうのしま荘



初詣

日頃の様子

ハッピーチルドレン



中学生とお茶会



海岸清掃へ参加



地域の敬老会にて

日頃の様子



笠岡夏祭り
(よっぢゃれ)



職員旅行（鎌倉）



地域の婦人会との交流

日頃の様子



社員旅行（USJ）



みんなで食事会



お伊勢参り

職 員 寮



ご清聴ありがとうございました